



# 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ 2021年4月号ブリテン

通算第119号 2021.4.28



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

## 2020—2021年度 主題 (Theme)

国際会長 Jacob Kristensen (Denmark) 主題「価値観、エクシジョン、リーダーシップ」

アジア太平洋地域会長 David Lua (Singapore) 「変化をもたらそう」

東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野多摩) 「変化をたのしもう！」

北東部 部長 南澤一右 (仙台青葉城) 『変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！』

仙台広瀬川クラブ会長 菅野 健 「励ましあって、試練を乗り越えよう」

## 今月の聖句

「正しい裁きは再び確立し、心のまっすぐな人は皆、それに従うでしょう」

詩編 94章15節

菅野 健

## 巻頭言

### 『コロナ禍』

高篠伸子

いつの間にか春が来て、あつという間に桜が咲いて、どこか遠いところのこのような気がしています。一向に収束の気配すらない新型コロナウイルス禍に、気持ちまで蝕まれていくようです。去年から一年以上の間、人と集まる行事はほとんどすべて中止を余儀なくされています。友人たちと一緒に飲んだり食べたりすることがどれほど気晴らしや楽しみになっていたのわかります。Zoom会議で例会に出席できるといいですね。(Zoom会議の設定ができます。)

苛烈な自然災害ばかりでなくパンデミックまで経験することになるとは！私たちは類い稀なる苦難の時代に生きていたんだと後世の人々に同情されるかもしれません。当事者なので何とか乗り越えていかなければなりません、感染対策をするくらいしかできません。不要不急の用事で出かけない、遊びにも行かない、と心掛けています。マンボウとかいう自粛要請の中、気晴らしをする気にもなれません。巻頭言らしくちょっと元気の出る話題にしたかったのですが、大阪や首都圏のニュースを見ていると、ちょっと先行き不安となります。

2020～2021 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
副 会 長	加藤 研	DBC	菅野 健	メネット会長	多田 純子
書 記	多田 修	DBC	村井 伸夫	ブリテン	増山 和憲
会 計	松本 京子	ユース	佐藤 剛	ブリテン	佐藤 健吾
監 査	伊勢 文夫	ユース	清水川 洋	直前会長	門脇 秀知
地域奉仕	阿部 松男	YMCA サービス	伊勢 文夫	担当主事	増山 和憲
地域奉仕	本野日出子	YMCA サービス	高篠 伸子	100周年行事	加藤 研
会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾	100周年行事	門脇 秀知

4 月第 1・第 2 合同例会報告							
在籍者	14名	出席者	14名	メイキャップ	0名	出席率	100%
メネット	3名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	0円		

**【4 月第 1・第 2 合同例会 報告】** 月間強調：LT

日 時：2021 年 4 月 21 日 メール審議

「黙祷」

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. 開会点鐘   | 会 長 菅野 健 |
| 2. ワイズソング | 一 同      |
| 3. ワイズの信条 | 一 同      |
| 4. 会長挨拶   | 会 長 菅野 健 |

5. 今月の聖句・感謝の祈り

「正しい裁きは再び確立し、心のまっすぐな人は皆、それに従うでしょう」

詩編 94 章 15 節

6. 10 周年記念誌について

- ① 記念誌表紙が宮城県の「むすび丸」画像の使用指示により一部替わりました。
- ② 全体で 70 ページ（表紙・裏表紙別）となりました。
- ③ 5 月 10 日までに納入されます。

7. 10 周年記念例会について

- ① 「広告依頼書」・「第 1 回日本語プレゼンテーションプログラム（見本）」
- ② 広告掲載にご協力をお願い
- ③ 「健康チェックシート」

※上記の内容に関して、メールで発信をしているので確認をお願いします。

8. 連絡・報告

9. 誕生日祝い（23 日：多田メン）

9. 閉会挨拶

10. 閉会点鐘

会 長 菅野 健
会 長 菅野 健

## ★頑張れ！東北楽天ゴールデンイーグルス★



この写真は14年前の3月に撮影したものです。右側に立つのは当時60歳前半の私です。左側のユニフォーム姿は、大学4年生の野球部員。この選手は、大学卒業後に西武ライオンズに入団しました。西武が優勝した日本シリーズで大活躍し、ノーヒットノーランも成し遂げた岸孝之選手です。岸投手が今も「恩師」と呼ぶ「菅野徳雄監督」が当時私と一緒に大学で働いていたことが縁です。そして、野球人生の仕上げとばかりに、西武から楽天イーグルスに入団しました。

入団した時の久米島キャンプに激励に行ったときは、「菅野先生～」と10数年ぶりに会ったにも関わらず大きな声で私の名前を呼んでくれました。本当に真面目で裏表のない青年、いや、日本を代表する大投手になりました。

身体に気を付けて1年でも長く楽天ファンを楽しませてくれることを信じて、グラウンドでテレビの前で応援する岸ファンです。皆さまもよろしくお祈りします。



菅野 健

## ★ロスアンゼルスのコロナ禍と学校★

新型コロナウイルス感染者が世界で最も多いアメリカ、中でも孫の住む西部カリフォルニア州は深刻です。昨年、「ステイ・アット・ホーム」と呼ばれる外出自粛令が出され、生活は一変しました。

学区毎に運営が違う孫（4年生）の通学している小学校は4月からようやく一年ぶりに通学出来るようになりましたが、オンラインか登校か選択出来るそうですがクラス24人中孫を含め登校組は6人だけだそうです。教材の受け取りは、密集を避けるために、学級ごとに25分刻みで登校時間が指定されます。保護者と子どもは車で登校し、学校に到着しても車の中にとどまったまま。つまりドライブスルー方式で新しい担任の先生と挨拶し、教材を受け取ります。通学する子供達のPCR検査は毎週行われ、次の日にメールで結果通知があります。子供の親も学校で検査を受けることが出来るそうで、さっそく検査していただき陰性の通知メールを受信したそうです。

ワクチン接種は、学区関係なく、個人で直接接種会場に申し込み無料で接種するそうです。



子どもの姿がない学校

接種会場は病院の他に、ドラッグストアやスーパーの薬売場でも接種出来るそうです。

既に二回接種終わった人もいますが、娘は遠くまで行けば接種会場が空いている場所もあるそうですが、近くの場所で接種したいようで、混雑を避けて空くの待つようです。

1日も早く普通の学校に戻るのが待たれます。

本野 日出子

## ★伊勢メンYMCA西中田保育園へ寄贈★



伊勢メンがYMCA西中田保育園にベビークラックとベビーベッドを寄贈しました。  
「感謝して活用いたします！」と吉永園長より

## ★第 24 回東日本区大会のご案内★

(理事通信より抜粋)

東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野多摩)

既にお伝えしていますが、新型コロナウイルス感染症終息が見えないことより、第 24 回東日本区大会は対面形式に代えリモート形式で実施することを 2 月 25 日の常任役員会でご承認頂きました。この方針転換に伴い、改めて開催要領をホストクラブと検討を続けており、現時点で概略下記の通りとなっています。詳細が決定次第皆さまにご案内申し上げます。

### 記

1. 日時：6 月 12 日 (土) 13:00~16:30
2. 場所：山梨県甲府湯村温泉郷 常盤ホテル
3. ホストクラブ：甲府 21 クラブ
4. 開催方法：ハイブリッド、日英同時通訳付
5. 主なプログラム：オープニング、開会式、東日本区アワー① (各種報告、表彰)、東日本区アワー② (理事就任式 / 引継式)、閉会式
6. 参加 / 出席形態
  - (1) 一般会員、来賓、部長・事業主任他報告者 リモート
  - (2) 理事就任式 / 引継式関係者 対面+リモート
  - (3) オープニング/開会式/閉会式  
対面+リモート+ビデオ録画
7. 参加登録費：なし
8. 開催費用：業者の起用 (大会当日の全体の映像の企画・運営・放映・録画など)、会場費その他費用を東日本区会計より支出
9. その他：詳細が決定次第ご案内

## ★日本 YMCA 同盟担当主事について★

2022 年 6 月末まで引き続き、光永 尚生さん (三島クラブ在籍) が担当していただきます。

※4 月以降通常は、熊本市に在住しておられますが、昨今の Zoom などによるオンライン会議などを通して、連絡いただけるそうです。

# 仙台 YMCA 東日本大震災支援対策室より

【報告】【仙台市荒浜スロープ砂除去ボランティア】 2021年4月24日(土)  
～海岸堤防スロープ堆積砂除去ボランティア～

2021年4月24日(土)13:15～16:30で、仙台市若林区荒浜地区にて標記ボランティアを行いました。宮城県で宣言されている「まん延防止等重点措置」のため、仙台YMCAの限定した職員有志で活動を行いました。

地域窓口の方お二人をはじめ、YMCAスタッフ11人、ご家族6人(うち子ども5人)での作業です。(仙台広瀬川ワイズメンズクラブからは村井総主事が参加)

震災後に設置された海岸堤防にあるスロープに風で運ばれた砂が堆積し、

- ・車椅子などでの利用ができない
- ・砂の除去には相当な労力がある

など地域の方から石巻広域ワイズメンズクラブの川上牧師を通してYMCAに依頼があり、今回のボランティアとなりました。

次回は仙台広瀬川ワイズメンズクラブ、仙台クラブ、青葉城クラブ、石巻広域クラブの皆さんの力をお借りしながら、作業を進めて行きたいと思っております  
(荒木啓二)

【砂が溢れており車椅子が通れません】



【かなりの重労働です】



【やり遂げました】



【5月の予定】

- ◆5月6日(水) 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会
- ◆5月15日(土) 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ設立10周年記念例会

【編集後記】

あっという間に散った仙台の桜。ゴールデンウィークの時期は、故郷の青森県が咲いている時期です。例年だと帰省して、桜並木の道に目を奪われますが、今年の帰省は自粛です。

【k・M】